

ベースラインのドリフト

ケース	現象	原因	対策
A	連続したドリフト	検出器の温度コントロールOFFの場合	主に示差屈折計 TEMP.CONT ONにする
		溶媒組成変化によるドリフト	溶媒交換などを行った後に見られる。 <u>長時間放置</u> してあった溶媒の場合は新しいものと取り替える
		長時間装置の停止によるカラム充填物からの流出物	特にUVに顕著 安定を待つ
		高濃度・吸着性のサンプル	時には復帰に時間を要する 事があります。
		配管接続部からの洩れ	カラムの接続、配管の接続部などの洩れ箇所を見つけ 追い締めをする。
B	周期的なドリフト	UVセルの汚れや気泡混入によるもの	セルのオーバーホールや溶媒の脱気
C	アミン系等活性の強い試料を入れた時のドリフト	溶媒の極性によるゲルへの試料の吸着による 事が多い	使用するカラムにより異なりますので、当社営業所にご連絡下さい